

1. 件 名：九州電力株式会社玄海原子力発電所の事業者防災訓練に関する  
意見交換について

2. 日 時：令和5年3月27日 14:30～15:45

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、澤村防災専門官、反町専門職、宮田専門職、

川本専門職

玄海原子力規制事務所

渡邊防災専門官

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他4名

5. 要 旨

九州電力株式会社から、令和5年2月28日に実施した同社玄海原子力発電所の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、通報文のEAL判断時刻を間違えた件については、発話は正確かつ迅速な情報発信が求められることから通報文の作成及び確認を担当する要員がチェックリスト等で確認する仕組みを検討してはどうかと伝えた。また、原子力規制庁から、ERCに対するEAL判断状況の説明性の向上については、発話者（EAL説明者）のEAL判断や情報の管理・統制について、本部内でサポートする仕組みの強化を検討してはどうかと伝えた。

九州電力株式会社から、本日の面談のコメントについて、検討する旨回答があった。

原子力規制庁より、改善が必要となる事項については、具体的な対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

九州電力株式会社から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 2022年度 玄海原子力防災訓練（2/28）における課題対応等  
について（2023年3月 九州電力株式会社）